

山口情報芸術センター[YCAM]:企画展

Semitra Exhibition「tFont/fTime (ティーフォント・エフタイム)」

セミトラ インスタレーション展

2009年9月19日(土) – 2010年1月10日(日) 10:00 – 19:00

山口情報芸術センター[YCAM]

卓越したメディア感性と技術を発揮するクリエイター集団「セミトラ」、初の個展。
「フォントにおける時間」をテーマに、YCAMの展示空間+WEBで作品を展開。

2003年の設立以来、ウェブデザインから、グラフィックス、インタラクティブデザインまで、メディアテクノロジーの最新形とデザインの領域をクロスオーバーさせるクリエイター集団「Semitransparent Design (セミトランスペアレントデザイン)」。

YCAMでは、ここから生まれたアートユニット「Semitra (セミトラ)」による新作個展「tFont/fTime (ティーフォント・エフタイム)」を開催します。

様々なコマーシャルウェブサイト、映像広告やディスプレイをはじめとした広告媒体(デジタルサイネージ)で注目される彼らのデザインワーク。本展では、フォント(文字書体)デザインに着目し、時間によってフォントが変容していくユニークなアイデアの新作を発表します。展示空間とともにウェブサイトからも観客が参加できるインスタレーションが展開します。

報道記者向け内覧会

2009年9月19日(土) 11:00 – 12:00

展覧会公式ウェブサイト <http://semitra.ycam.jp> (8月1日公開予定)

※9月19日(土)は、12:00より展覧会を一般公開いたします。

主催：財団法人山口市文化振興財団 後援：山口市、山口市教育委員会
技術協力：YCAM InterLab 企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]
プロジェクトキュレーター：阿部一直(YCAM)

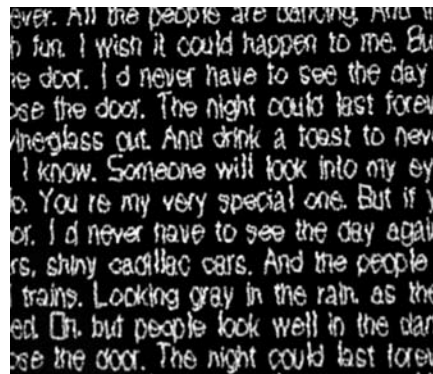
ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当：廣田、辰村

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 e-mail:information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



写真：上から「tFont」(2008)、「AKARIUM CALL」デバイス(2006)、「Skew」(2006)

「tFont/ fTime (ティーフォント・エフタイム)」

フォントが時間を作り出す！

新しいデザインアイデアによるインスタレーション+ウェブサイトでの展覧会。

タイトルの「tFont/ fTime」とは、「時間フォント/フォント時間」をあらわし、フォントが時間によって変化していくプロセスを視覚化する新しい発想から、文字デザインを探求するところみです。

本展では、近年急速に進展しているオリジナルフォントのデジタルデザインにとどまらず、フォントの変化・変形を、身体をつかって自由に触れたり、作ったりするストリートやスケートカルチャーのクリエイティブセンスを複合的に導入しています。

インタラクティブな要素を取り入れたインスタレーションは、観客が参加しながら体験できるほか、ウェブサイトを通じてアクセスすることもできます。

<「tFont」を用いたインスタレーション作品>



「フラッシュを使用しない撮影は許可されています。」

2008, NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]

展示空間では、ウェブサイトを通じて収集されたメッセージが「tFont」で表示される。一見、不規則に明滅している光の粒を、来館者はカメラで撮影することにより解読することができる。この作品の一部始終はカメラを通してウェブサイト上でも公開。肉眼では不可視な情報を、シャッタースピードを落としたカメラのファインダーを通して発見する作品。

※本展では、この作品の改訂版にくわえ、「fTime」を用いた新作インスタレーションを発表します。

「tFont」は2次元であるフォントに時間軸を加えたものです。

一見でたらめな光の点滅に見える映像は、文字の軌跡を描画しており、シャッタースピードを落としたカメラなどで撮影することによって初めて読むことができます。

このフォントのオリジナルは動的で読めない光の点滅であり、可読を獲得するためには写真を撮るなどの加工が加えられることになります。つまり「tFont」は他者によって加工/変形されることが前提に設計されたフォントです。

そして、この加工/変形によって伝播していくウェブ的な文化に、ウェブクリエイティブの可能性を感じています。

今回YCAMで展示する作品は、この「tFont」を使ったインスタレーションと、新作「fTime」をつかったインスタレーションを予定しています。

「fTime」とは時間軸上にフォントを並べたもので、音楽を再生するようにフォントを再生するという試みです。

(田中良治/セミトラ)



「tFont」

※時間軸(シャッタースピード)の変化により、上記のように文字の軌跡を認識(視覚化)することができる。

作家プロフィール

Semitra (セミトラ)

ネットワークとリアルスペースを連動した独自のデザイン手法を開拓し、カンヌ国際広告祭、クリオ賞、One Show、New York ADC、D&ADなどの広告賞を多数受賞しているクリエイター集団「Semitransparent Design」(メンバー：田中良治、菅井俊之、柴田祐介、佐藤寛、萩原俊矢、柏木恵美子)から生まれたアートユニット。

ビジュアル、プログラム、ネットワーク技術を駆使して、ウェブ、インスタレーション、写真、映像など、メディアの形態を選ばず多岐に渡るアイデアの作品を発表している。主な活動として2008年、NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]にて自ら開発した時間軸をもったフォント「tFont」を使ったインスタレーション「フラッシュを使用しない撮影は許可されています。」や同じく「tFont」を使った岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー [IAMAS]でのワークショップ、「映像作家100人2009」(ピー・エヌ・エヌ新社)への映像提供などがある。

<http://www.semitransparentdesign.com/>

Semitransparent Designの代表的な作品例

「AKARIUM CALL」(2006)



参加者の携帯電話からの声に応じて、表参道(東京)に立てられた巨大灯籠(総数60本)が明滅するインタラクティブイルミネーション。

山口情報芸術センター[YCAM]の情報スペースデザイン(2003)



YCAM開館時には、情報スペース「BIT THINGS」のインタラクティブデザインを開発。

「Color Tokyo! - Live Color Wall Project」(2007)

Sony BRAVIAのプロモーションコンテンツ。ネットワークを通じて、実際のソニービルの外壁にあるライトの色を変えられるという作品。

関連イベント

注目のトークイベントには、Semitra × 中村勇吾 (tha)、阿部洋介 (tha) が登場。

■ オープニングトーク

9月19日(土) 15:00-17:00 会場：ホワイエ 入場無料

出演：Semitra ゲスト：中村勇吾 (tha)、阿部洋介 (tha)

モデレーター：阿部一直 (YCAM)、会田大也 (YCAM)

出展作品についてアーティスト自身が語るトークイベント。ゲストには、ウェブデザイン、インターフェースデザインで注目されるデザインスタジオ「tha ltd.」の中村勇吾と阿部洋介両氏をむかえます。

※このほか、関連イベントとしてギャラリーツアーやYCAMオリジナルワークショップを開催いたします。

詳細は、ウェブサイトにてご確認ください。

開催概要

Semitra Exhibition 「tFont/fTime」 セミトラ インスタレーション展

2009年9月19日(土) - 2010年1月10日(日) 10:00-19:00 ※9月19日(土)は、12:00より一般公開

会場：山口情報芸術センター [YCAM]

入場無料

<http://semitra.ycam.jp> (8月1日公開予定)

休館日：火曜日(祝日の場合は翌日)

12月29日(火) - 1月3日(日) 年末年始のため全館休館

※10月26日(月) - 11月6日(金)は、展覧会のみ臨時閉場いたします。

主催：財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]

プロジェクトキュレーター：阿部一直(YCAM)